

## 日本物理学会 2021 年年次大会

### 領域 10 誘電体分科インフォーマルミーティング 議事録 (案)

日時：2021 年 3 月 14 日 (土) 17:05~18:20

場所：オンライン (参加人数 約 20 名)

進行・書記：領域 10 誘電体分科運営委員 安井伸太郎 (東工大)

#### 1. 2020 秋季大会 領域 10 インフォーマルミーティングの報告 (\*運営会議は未開催)

##### 1. 領域委員会報告

2020/5/8 にオンラインにて開催された領域委員会に関する報告がされた。秋季大会での招待講演、シンポジウム等の審議について、若手奨励賞の各領域の受賞上限数について、大会の英語化について等が報告された。

また、大会における企画提案の種類が紹介され、大きなプロジェクトが立ち上がった際など、共催シンポジウムや共催企画講演の積極的な提案が求められた。

##### 2. 賞の推薦依頼状況等

若手奨励賞、論文賞、米沢富美子賞について、申請状況や締切日程について確認した。積極的な推薦が求められた。

##### 3. 学生優秀発表賞について

この秋から施行された規則が確認された。今秋季大会にて各分科に申請された件数、状況が報告された。

##### 4. 第 77~78 期代議員候補者の推薦について

次期代議員について、各分科から 1 名の推薦が求められた。本部への提出期限は 10/30(金)である。4 名のうち 3 名を領域 10 からの推薦、残り 1 名を立候補とする旨が確認された。  
広島大 黒岩先生 を推薦>承認

##### 5. フォノン分科のキーワードについて

フォノン分科運営委員の小野先生より、フォノン分科のキーワードの変更と追加について提案がされた。発表件数向上のために、新たなキーワードが提案された。誘電体分科に関しても非常に重要な局面であることは確か

##### 6. 誘電体分科 IM からの報告

誘電体分科 IM において、次々期運営委員に岡山大学の狩野旬先生が承認された旨の報告がされた。学会への要望として、オンライン開催による収支の変化と、プログラム冊子 pdf の

置き場所を分かりやすくする旨の提案があった。 >特に改善されていないと思う メール  
リスでリマインド

#### 7. 代表、副代表、運営委員

次期領域副代表について。格子欠陥分科より提案がかつてあったが、産総研の李先生  
代議員については各分科より1名ずつ選出することとする。

誘電体分科の次々期運営委員：岡山大 狩野旬先生

X線・粒子線分科の次々期運営委員：物性研 川名大地先生

フォノン分科の次々期運営委員（メールにて追加）：東大工 志賀拓磨先生

を確認した。格子欠陥分科については期日までに選出が求められる。

#### 8. その他

概要提出率の報告がされた。>安井出し忘れ、大変申し訳ありません。

（西谷先生）当日の資料では領域10からの現代議員に田口昇先生（格子欠陥）が含まれて  
いなかったが、過去のメールやり取り、資料を確認したところ、田口先生が立候補として参  
加していることが分かった。

（吉田先生）次々期副代表についての確認をしていただくこととなった。

（伊藤先生）中性子・ミュオンサブ分科では、中性子担当とミュオン担当がいるため、正式  
な次々期運営委員は川名先生であるが、ミュオン担当として竹下先生が参加することが了  
承された。

（符先生）学生優秀発表賞の評価シートは、現行のものが正式であるとのことで、今後連絡  
委員より毎回そのフォーマットを各運営委員に通知することとした。

#### 2. 次々期領域運営委員について

次々期領域運営委員（2021年10月～2022年9月）として、清水荘雄先生（NIMS）が  
推薦・承認された。

#### 3. シンポジウム開催状況について

近年の開催状況について説明があった。

#### 4. キーワードの見直し

誘電体分科の口頭発表人数が激減（オンラインになり30名程度から10名程度に減少）

キーワードの見直し等、今後の活性化について議論が必要であること運営委員より提案し  
た。

提案されたキーワード

- ・ HfO<sub>2</sub>
- ・ 窒化物系
- ・ ハライド系
- ・ その他の物質系
- ・ 層状化合物
- ・ 新物質
- ・ 計算科学
- ・ マテリアルインフォマティクス

(意見)

- ・ 第二キーワードはインパクト大。第二キーワードに大事なワードを持つてくる必要性。
- ・ キーワード整理は必要。第二キーワードと第三キーワードの整理。第三から第二への昇格も妨げない。
- ・ イベント・研究会・シンポジウムを開催し、その流れを汲んだキーワードを入れて人を流し込むと効果的。
- ・ キーワードの見直しを5年に1回は最低やる。(必要があればもっとやる)
- ・ 最終更新は2002,3年頃(20年も更新されていない!)
- ・ 分極系はほぼ領域8で報告されている。
- ・ 研究費が取れそうなネタ提供。研究費がとれそうな香りが必要。
- ・ 物理学会の外で研究会をやる。=> 物理学会にテーマごと持つてくる。

## 5. フリーディスカッション

[大きなイベント・研究会・シンポジウム開催の方法]

- ・ シンポテーマ提案
- ・ HfO<sub>2</sub> シンポ (国際的にはセッションが必ず立っているのに、JPSでは発表すらない。セラ協と応物でもシンポがあるのに JPS だけない。セラ協と応物で発表している人をシンポに呼ぶ)
- ・ 新物質シンポ (色んな物質を集めたシンポ。誘電体: 物質にフォーカスするのが苦手。物質を提供すれば、共同研究を加速できるような研究会開催 => 発表件数へ。開催趣旨をそうする。誘電体分科が持つてる技術を紹介)
- ・ 超秩序構造シンポ (早めにやった方が良い。2022 春を目標=谷口、狩野)
- ・ CREST 等 進行形大型予算からシンポ開催。人を invite。(誘電体分科の人たちがお金をとれるテーマを増やす趣旨)[シンポ開催の方法]セミリモート会議: リモートベース (1つのホテルには集まる) 新幹線近隣のホテル1フロア貸し切る。1室会議室。飲食禁止。集まりたい人は集まる。(人数に応じてホテルの規模を選ぶ。)

[若手のエンカレッジ (ネットワーキングの構築)]

「強的秩序とその操作にかかわる研究会」 (2回/年)

- ・ 強的秩序(元々マルチフェロから立ち上げた)に若手の会はひきついだ。
  - ・ 応用物性 強的秩序を使った AI 関係の人工知能デバイス開発, 基礎物性とも関連
  - ・ 学生が勉強できる場を与える
  - ・ 夏の学校開催している(all invite, 夜 飲み会+ポスター)。=> 学生が参加しやすいように、強的秩序からも誘電体分科へメーリス流す。(承認済み)
- ⇒ 本件は強的秩序研究会で承認済み、今後は後援として参加する。メーリスにて案内する。

[その他]

- ・ 誘電体で口頭が減っている理由がある。それを考えなくてはならない。
- ・ 学生が学べないから、物理学会で発表させていない。学生が少ない。==>横のつながりができない-->発表しない。-->件数が減る。(悪循環)
- ・ 質問が少ない。雰囲気が重い。
- ・ プログラム編成に配慮。(今回、シンポが重なっていた)
- ・ 学生(大石君)をエンカレッジする。
- ・ イベントやって人を固定させる。

以上